

 議会だより

わくや

6月会議号
2017.8.1
No.190



そうめん おいしいよ

こんなことが議論されました	〈6月会議〉	2
町政を問う5人の提言	〈一般質問〉	4
みなさんから議会への要望	〈請願・陳情〉	10
これからの涌谷は？夢を語ろう	〈議会懇談会〉	11
かがやく町民紹介	〈町民の声〉	16

6月会議

6月会議は、6月21日から23日までの3日間で開催され、各会計の補正予算、条例などを原案どおり可決しました。

農業委員会制度の改正

「農業委員会等に関する法律」の改正法が平成28年4月から施行され、これまでの公選制から、市町村長が議会の同意を得て任命する方法に変わりました。



農業委員会委員の選任
(任期は7月20日から3年間)
※敬称略

- 大友 利明 (小里区)
- 白幡 利政 (大谷地区)
- 佐々木幹夫 (小里区)
- 渋谷 ミホ (9の3区)
- 及川ふじ子 (大谷地区)
- 日野 善勝 (下町区)
- 畑岡 茂 (岸ヶ森区)
- 高橋 均 (協区)
- 黒澤 長一 (吉住区)
- 高成 貫治 (2の1区)
- 手嶋 一郎 (11区)

賛成全員で同意

経過

募集は平成29年2月27日から3月27日まで行われ、14人の応募がありました。

その後、農業委員等候補者評価委員会が4月18日に行われ、農業委員候補者の11人が選考され、6月会議で同意を求められました。

議案第36号

公益的法人等への職員の派遣等に関する条例
(指定管理者となる法人等へ職員を派遣する際のルールを定めるもの)

問 派遣先団体や復帰時の処遇、給与内訳を条例で定めることになっているがなぜ規則で定めるのか。

答 各市町でそれぞれ定め方があるが、町としては規則で定めることとした。

問 給料や時間外、勤め手当などもあり、条例で明示すべきだ。

答 あらかじめ町と派遣先とで取り決める。

問 企業会計職員も対象になるのではないか。

答 対象者や、派遣についてさらには検討していく。

問 派遣期間は延長して5年以内とあるが、これまで派遣された職員は今後何年間になるか。

答 現在公社に派遣している職員は、今年度までの派遣である。

6月会議採決状況 ○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない

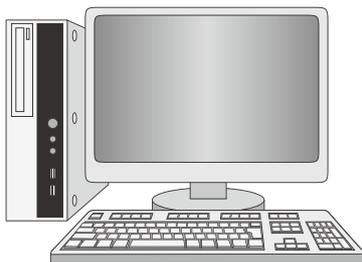
件名	竹中 弘光	佐々木敏雄	佐々木みさ子	稲葉 定	大友 啓一	只野 順	後藤 洋一	久 勉	杉浦 謙一	門田 善則	大泉 治	鈴木 英雅	遠藤 釈雄	議長
人派遣の法的な公益的法人等に関する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案第41号

財産の取得について
(平成30年度からの下水道事業の公営企業会計移行に伴い、上下水道事業を円滑に行うため、公営企業会計システムを購入するもの)

問 メンテナンスの内容と消費税率変更対応が組み込まれているか。

答 5年間の保守契約がついていて、消費税変更の対応についても価格に含まれている。



補正予算質疑

道路新設改良事業費が約 3,500 万円の減額。国の内示によるものだが、追加要望や県と協議を重ねるなど、道路整備にさらに努力を。

一般会計

歳入

道路新設改良事業費

問 どうして減額か。詳しく説明を。

答 昨年も要求額の半額しか内示が出なかった。他市町村も同様である。

問 追加要望が必要なから議会も含めて対応すべきでないか。

答 色々な対応がある。熱意をもって折衝していく。

問 籠岳山線の交付金が減額になったと説明があったが、町民が期待している事業である。今後はどうするのか。

答 事業は継続し、さらに、国県にも交渉する。

補正予算

歳出

結婚新生活支援補助金

問 所得制限を撤廃し、補助対象枠が30件となったのは。

答 当初は低所得世帯のみを対象としていたが、所得制限を撤廃し、昨年度の実績から、対象者見込みを30件とした。

問 核家族・親世代と同居した場合のリフォーム代などが対象にならないのはなぜか。

答 国の制度上及んでいないためであるが、町独自の制度の組み合わせでやっていきたい。

問 一括購入で歳出抑制をエアコンなどの購入は、各課ごとではなくまとめて購入しては。

答 同一仕様であれば可能である。

防犯カメラの設置を

問 涌谷保育園の防犯カメラが設置されるが、さくらんぼこども園には。

答 今回は、民間のみ補助である。さくらんぼこども園は施設管理と防犯対策の強化を検討していく。

アメリカ海外研修

問 中学生の海外派遣研修の実施時期が夏休みになって、渡航費が高くなったのはなぜか。

答 当初、渡航時期は10月を予定していたが受け入れ先の都合により、夏休みの時期に変更した。渡航時期が秋から夏になり、渡航費用が3倍に高くなった。

国保病院事業会計

内視鏡機器の購入

問 購入する機器のメ리트は。

答 内視鏡などの医療機器を導入することによって、診断の正確性が期待でき、経営にとっても効果的である。



防犯カメラで防犯対策強化

ズバリ

6月会議では、6月21日に一般質問が行われ、5人の議員が町政全般について質問をしました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。
(URL <http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)

一般質問



町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

佐々木 敏雄 議員 (5 ページ)

- 1 新県立高校将来構想第3次実施計画を見て涌谷高校の学科編成をどう考えるか
- 2 スポーツ公園、健康パークの都市公園としての設置について

佐々木 みさ子 議員 (6 ページ)

- 1 桜並木と河川の環境について

稲葉 定 議員 (7 ページ)

- 1 団員不足の中で、消防力は大丈夫か

杉浦 謙一 議員 (8 ページ)

- 1 8000ベクレル以下の廃棄物保管の考え方について
- 2 特定不妊治療助成制度の考え方について

門田 善則 議員 (9 ページ)

- 1 旧小里幼稚園跡地売却について問う



佐々木敏雄 議員

高校再編

涌谷高校の存続に向けた学科編成は

答 関係機関に働きかける

一般質問



人気のある学科は？

問

平成29年2月、県は「新県立高校将来構想」第3次実施計画」を公表した。しかし、涌谷高校の学科編成の計画は盛り込まれなかった。

町長は、涌谷高校教育振興会の会長でもあるが、町として学科の編成をどう考え運動していくのか。

町長

涌谷町の特色である「健康と福祉のある町」の涌谷高校として、福祉系学科新設を継続して要望していく。

問

「福祉系学科」では、生徒の選択範囲が狭いのであれば、「医療福祉系学科」でもいいが、学科編成の実現のためには、次期の実施計画に載る必要がある。平成31年の涌谷高校創立100周年までには、インターンシップ制の導入（体験学習）など他高校ではできない、医療福祉センターとのタイアップした事業などを模索して学科の編成に尽力してほしい。

町長

中学生の高校を選択する幅を広げたい。高校の統廃合は全県的な問題でもある。町村会へも働きかけをしている。

避難所整備

「B&G、涌谷スタジアムと天平の湯周辺をスポーツ公園、野外活動の場と避難所へ

答

避難所への早期避難態勢を整備する

問

都市公園として設置することが国の補助制度や交付税の措置もあり、財政的にも有利である。整備していく考えはあるか。

町長

都市公園の設定には、都市計画審議会の承認や関連する計画、都市マスタープランなどを見直す必要がある。他の政策との整合性もあり、再検討する。

問

西地区での議会懇談会で、3階以上の避難場所や涌谷バイパスに登れる階段設置などの要望があり、避難所がないことへの不安を持っていた。整備していく考えはあるのか。

町長

国土交通省では、砂田前、市道、



オムニコートの要望があったB & G テニスコート

問

三軒屋敷の堤防や河川の整備をした。出来川も順次整備している。

町長

早い時期に都市公園化への結論を出すべきではないか。制約もあるが、2次、3次避難所への速やかな避難態勢をとれるよう、防災対策を考えていく。

桜並木と河川の環境整備を



佐々木みさ子 議員

答

桜木を管理整備しより良い環境づくりを進める

一般質問

問 桜木の管理はできているのか。

町長 さくら台帳で約4200本を管理している。テングス病対策や、アメリカシロヒトリの防除のほか、枝の落下防止や倒木防止のための剪定なども行っている。限られた予算の中でさくら回廊などの主要箇所を中心に維持管理をしている。

問 樹齢20年近くの江合川左岸のさくら回廊には、官地に竹やくるみの木も茂り、防犯灯や太陽の光を半減させている。民家に接触するなどのトラブルが発生した場合、伐採などは行うのか。

まきり推進課長 現場を確
認し、適
宜対応していく。発見した場合は、担当課に連絡を入れてもらいたい。

問 桜の名所として次世代に残している

くために、さくら条例の制定などの考えはあるのか。

町長 町花としての桜木の管理を見直し、整備していく。樹木に関して専門家の意見を聴いて、対応していく。

問 涌谷大橋付近から涌谷橋までの河川環境の現況をどうとらえているのか。

町長 河川の整備では国土交通省や関係機関と協議し、よりよい河川環境づくりを進める。



樹木に明かりを遮られている防犯灯



橋を越える高さまで大きくなっている



消防団が中心になって土のうで築堤 越水をくい止めた

問 消防団員のなり手不足が問題となっている。涌谷町消防団は一昨年、砂田地区で江合川堤防からの越水をくい止め、豪雨から町を守り、水防団としても重要性が大きい。公務員である町職員の入団は考えられないか。

町長 一般職公務員の消防団への加入は法的に認められており、可能である。町職員の入団については要望があれば対応する。

問 団員の補充が進まない、班や分団の機能が維持できない。更なる組織改編の考えはないのか。

町長 消防団活動に支障が生ずるようであれば、組織改編も検討する。

問 特別職公務員の場合も入団できるのか。

総務課長 特別職の入団も可能と判断している。

問 団員確保のため有給休暇を付与したり、団員報酬の引き上げをするなど、待遇改善を図る考えはないか。

総務課長 団員の処遇改善については、現行制度の中で対応していく。

問 消防装備、設備の点検や更新、拡充を進めているのか。

町長 装備、設備の点検更新については鋭意進めており、さらに補助事業などを活用し、防災力の向上を目指していく。

消防団

団員確保で消防力強化を

答

町職員の入団については要望があれば対応する



稲葉 定 議員



杉浦謙一 議員

一般質問

放射性汚染廃棄物

1キロ当たり8000ベクレル以下の廃棄物保管の考えは

答

方向性が決まるまで現在地での保管を考えている



処理方針が決まるまで、しっかりと保管

問

昨年12月27日の市町村長会議では、1キロ当たり8000ベクレル以下の原発事故由来の廃棄物について「一斉焼却」の方針が全体の賛同を得られず、予定していた試験焼却を実施できなかつた。廃棄物処理に関する町長の考えは。

町長

町としては、全県での方向性が決まらない状況での移動はかえって住民の不安をおおる恐れもある。一定の方向性が決まるまでの間、現在地での保管と考

問

稲わら一時保管場所の一部は、入口がむき出しの状態である。何らかの対策が必要では。

農林振興課長

場所を認識しており、対応する。

場所を認識してお

不妊治療

特定不妊治療助成制度の考えは

答

実施に向け検討する

問

特定不妊治療とは、様々な不妊治療の中の体外受精や顕微授精のことである。ほとんどの不妊治療は、健康保険が適用されず子どもがほしいと思っても、高額なため経済的負担は大きいのが現状だ。この制度について所見は。

町長

子どもがほしくても妊娠できず不妊に悩む夫婦を支援することは、次世代育成支援対策の少子化対策としても、大切な取り組みである。国や県が示す「不妊治療支援のあり方」などをしっかりととらえ、積極的に検討する必要があると考える。

問

この助成制度を実施している県内自治体が増えてきている。当町での考えは。

町長

県内の状況としては、仙台市を含め26市町村が制度を導入している。近隣自治体の情報を収集しながら、実施に向け財政措置を含めて検討していく。





跡地は町民の福祉の向上につながる活用を

問

今回の旧小里幼稚園跡地売却については、議会、地元住民にも相談がなく進められたことは、大変遺憾であり困惑している。跡地については、学校適正規模、適正配置が完了した時点で考えることとなっており、町長の判断は町民を無視する行為で到底納得できない。

町長

涌谷町公共施設等総合管理計画の中で、厳しい財政状況を踏まえ、将来の財政負担の軽減や公共施設の最適な配置を目指して「施設の廃止に伴う跡地は、原則売却する」としている。

今回は、民間事業者から跡地の利用について相談されたこともあり、一般競争入札により売り払いを実施したところである。

問

将来の地域性を考え、介護老人福祉施設にすべきではないか。今後の公共施設の売却については、議会と相談して町民の福祉の向上につながる売却を考える必要があるのではないか。

町長

涌谷町公共施設等総合管理計画に基づき、今後も原則売却を実施していくが、地域の方々のために町で活用する場合においては、議員各位、行政区長さんを初め、地域住民の皆様のご意見を聞き取り組んでいく。



旧簗岳小学校

跡地売却

旧小里幼稚園跡地売却について

答

地域住民の皆様のご意見を聴く



門田善則 議員

教育厚生常任委員会陳情審査報告

町の財政負担、公平性の観点から陳情2件を不採択に

平成28年陳情第12号

涌谷町B&G海洋センターテニスコートを砂入り人工芝（オムニコート）化に関する要望書について

審査の結果 不採択

陳情書の趣旨

涌谷町B&G海洋センターテニスコートについて、中学校ソフトテニス部の活動確保、各種大会誘致、硬式テニスの使用、総合型スポーツ振興のために、次のことを要望する。

- ①オムニコートへの整備
- ②クラブハウス設置
- ③照明灯の増設

委員会意見

現在抱えている行政課題、とりわけ教育分野全般における課題を考えると、喫緊の課題として施設整備を伴うものでは、小学6年生までの学童保育、公民館の図書室の整備、子育て関連としては、待機児童の解消などがあり、いずれも費用負担の大きい課題である。大きな費用負担が伴うオムニコートの整備については、これらに先行する理由が見当たらない。

平成29年陳情第4号

児童館を下本町地区に設置することに関する要望書について

審査の結果 不採択

陳情書の趣旨

児童館を移設する場合、下本町地区は、児童・生徒並びに保護者が安全に通わせることができる地区であること。

また、移設の折には、地区への人通りが増え商店街への賑わいが増すとともに、空き地の解消など、土地の有効利用も図れるとして、八雲児童館を移設する場合に、移設先の第一候補とされるよう要望するもの。

委員会意見

八雲児童館本来の業務に加えて、学童保育まで担っている現状をどう解決するのか。小学校6年生まで延長される学童保育の準備や待機児童の解消が当面の課題であり、八雲児童館移設は、その後の検討課題と思われる。

また、下本町だけでなく、本町、新町も含めた中心部のまちづくりについて、改めて議論されるべきと思われる。

請願・陳情

皆さんの請願・陳情

平成29年陳情第5号

日本政府に核兵器禁止条約のため行動を求める意見書提出のお願い

陳情者

2017 原水爆禁止国民平和大行進宮城実行委員会
代表委員 青木正芳

審査の結果

配布となりました。

平成29年陳情第6号

就学援助の拡充と運用の見直しを求める陳情書

陳情者

民主教育をすすめる宮城の会
代表 太田直道

審査の結果

配布となりました。

平成29年陳情第7号

健康文化複合温泉施設に導入されたRPFボイラーの導入経過等に関して、涌谷町議会が涌谷町長に個別外部監査契約に基づく監査を実施するための手続を早急に取ることを提言することに関する要望書

陳情者

遠藤 淳七郎

審査の結果

不採択となりました。

議会懇談会

～まちの動きをみなさんへ
みなさんの声を町政へ～

5月28日(日)、町内6地区の会場で議会懇談会を開催しました。

主な意見、質問などをお知らせします。

議会報告会での回答に加え、町の考えを確認して掲載しているものもありますので、ご了承ください。

意見交換テーマ

～夢を語ろう～

わくやをどんなまちにしたいですか？

今回はテーマを変更し、町民の皆さんが「どんな町を望んでいるのか、「こんな町だったら～」と夢を語り合いました。

大きく5つに分類しました。それぞれ関連し、連携する意見でした。人口減少に対する歯止め策についての要望が多くありました。

涌谷のPR

- ・こせんきょう 跨線橋を黄金色に
- ・歴史文化を生かしたまち

交流人口の増加

- ・公認パークゴルフ場
- ・場外馬券場
- ・B級グルメの開催
- ・ファミリーレストラン

暮らしやすいまち

- ・高規格道路
- ・図書館
- ・文化センター

行政サービスの充実

- ・待機児童がないまち
- ・高齢世帯の定期的な家庭訪問
- ・高齢者が買い物できるまち

環境

- ・水路がきれいな町



質疑応答

議会活動について

問 議会報告会はPR不足では。

答 広報車やダイレクタメールも活用し、お知らせします。

問 議会だよりでは、答弁に検討するという表現が多いが、時期の明示などできないのか。

答 議員の質疑の際、そこまで引き出せるようにします。

問 自治会や区長会、民生委員会と議員が話し合える場を。

答 議会懇談会や常任委員会でも対応します。

議会懇談会

黄金山工業団地について



完成に向けてラストスパート

問 工期はいつまでで、予算はいくらか。

答 工期は8月までで、予算は5億円です。

問 のり面が急勾配に思われるが崩れる心配はないか。

答 のり面は地滑りが起きないように、勾配を緩くするなどの設計を行っています。

問 水道消火栓は整備されているか。

答 水道消火栓は1カ所、ほかに防火水槽を2カ所設置します。

問 付近への信号機の設置予定は。

答 公安委員会と協議しておりませんが、現状では設置しません。

問 企業誘致のメリットは何か。

答 雇用による定住人口の増加、固定資産税などの税収の増加、物品調達などによる経済効果があります。

問 誘致が決まった企業が採用する人数は。

答 当初10人程度からスタートし、将来30人程度になる予定です。

防災について

一時避難場所として

問 水害時などの避難場所として、涌谷バイパス跨線橋(かぎりょう)に上られる階段を設置してほしい。

答 防災担当課とともに、国道管理者である国土交通省と協議検討していきます。

避難所整備

問 水害の際、西地区は逃げる場所がない。水害地域の西地区に、3階以上の避難場所が必要である。バイパス沿いなどに、災害時に避難できる公園の設置などは考えられないか。

答 避難については、防災無線などにより周知することになるが、周知に従って早めの避難をお願いしています。

防災無線の改善

問 防災無線の機能を高めるために、屋内仕様にできないか。また、聞こえないところと音量が大きすぎるところがあるが、改善できないか。

答 屋内への設置については検討中です。音量については、スピーカーの向きを調整するなどして対応したいと考えます。



水害時の一時避難は少しでも早く高い所へ

議会懇談会

議会活動について
施設・環境整備について

防災マップ

問 新たに作成する防災マップには地域の意見が反映されるのか。

答 各行政区の自主防災組織の意見も聞きながら作成したいと考えています。

防災訓練の実施

問 防災訓練を東地区、笹岳地区でも開催してほしい。

答 各自主防災組織などの意見を聞きながら検討します。

道路整備について

計画・時期の明示を

問 道路整備や維持作業などは計画を立てて各路線ごとに進めてほしい。

また、道路補修の依頼をした際には、時期を示して丁寧に対応してほしい。

答 幹線道路に関しては補修計画に基づき実施しています。

道路補修については、丁寧な説明をするよう努めます。

県道河南築館線は

問 県道河南築館線の整備はどうなっていますか。

答 町、地域の同盟会と整備促進を要望していきます。

議会としては、2月に宮城県知事及び県議会議長あてに要望書を提出しています。

議会懇談会

生活環境について

排水路整備

問 排水路に土砂が堆積して流れが悪くなっている。

また、U字溝のふたを開けられなくて困っている。計画的な整備を。

答 関係する涌谷町土地改良区とも協議し、早期に排水不良を改善できるよう予算確保も含め、検討します。

通学路整備

問 通学路のブロック塀に危ないところがある。

また、馬場崎以降に歩道がないので整備を。

答 町道に近接した危険なブロック塀に関しては、所有者に対して随時注意喚起しています。

歩道については、一部住宅地があり、現状では歩道整備は困難です。

答 要望などを聞きながら、計画的に設置していく予定です。

防犯灯設置は

問 本年度防犯灯はどこに設置するか。

答 涌谷中学校下の県道涌谷田尻線の涌谷大橋から涌谷橋の間となります。



定期的な整備が必要です

問 道路は明るく
上地区生活センターから上谷崎の区間に道路照明がなく暗いので設置を。

答 検討が必要と考え
ています。

用水路整備

問 北田団地線脇の用水路の対策を講じてほしいが。



通学路、町の観光地として

保健・医療・福祉
こつこつ

石巻市夜間急患センターのPRを

問 石巻市夜間急患センターをもっとPRすべきでは。特に小児科があることを。

答 診療案内などを広報へ掲載していきます。



小児科もあります

質疑応答

国保の制度改革は

問 来年から国保の制度が変わるが、町民に詳しく知らせるべきではないか。

答 制度変更の進捗状況を見ながら、広報への掲載を検討していきます。

安全・安心

問 救急車が15分で来られない地域にAEDを設置してほしい。

答 AEDの設置については、公共施設を優先に考えています。

病院の対応

問 国保病院で、救急外来を断られたと聞いたが。

答 救急受け入れに関しては医師の判断で行っています。

介護予防や地域での介護について

問 地域包括ケアの名のもと、地域での介護予防や介護は、地域の負担が大きすぎる。スタップ不足などの問題が出た場合、支援はどうするのか。

答 今年度から生活支援体制整備事業により生活支援コーディネーターを配置し、関係団体による協議体を立ち上げ検討していきます。

食育の推進を

問 地域に入って食育のイベントをしてほしい。

答 現在、学校や幼稚園、健康推進員協議会などの関係機関と連携し、食育の推進を図っています。また、地域においても細やかな活動を行っていきます。

その他の質疑

空き教室などの利用は

問 籠岳地区の小学校、幼稚園が空いているが、今後の活用はの予定は。

答 また、小里小学校の体育館は利用できないのか。

答 公共施設の跡地などは、原則売却とされています。住民のご意見を聞き、活用する場合は検討します。

体育館は、耐震工事などを実施していないため、安全性に問題があります。

公社のこれから

問 地域振興公社は一般社団法人になったが、天平ろまん館を指定管理から外してはどうか。

答 天平ろまん館は歴史文化施設だが、町の活性化のための観光・交流の拠点としての目的もある。引き続き天平の湯と一体的に運営していくことが、効果的かと考えています。

涌谷駅前整備を

問 検討委員会を作り涌谷駅前の整備を。

答 実現に向けて関係機関と検討します。

財産貸付による収入は

問 町の収入となっている電柱敷地料額は。

答 電柱敷地料は、年間約90万円です。



旧小里小学校

議会懇談会

保健・医療・福祉について
その他の質疑について

篔岳公民館の今後は

問 緊急時または相談などについては、涌谷公民館に連絡しなければならぬ。不便である。

答 平成28年4月から、嘱託職員3人で、常時ローテーション勤務をしています。

緊急時や相談などは、涌谷公民館の職員が至急対応する態勢を整えています。
コピー機などの更新は、利用頻度などを勘案し、検討します。

太陽光設置工事の進捗状況は

問 成沢地区の太陽光発電はどうなっていますか。

答 今後、地質調査・造成計画の策定や県への許認可申請を行い、対象地域での住民説明会を開催する予定であるとのこと。

学力調査の開示を

問 小中学校の学力状況や不登校の実態と、その対応を具体的に町民に開示してほしい。

答 学校と問題を共有しながら、検討し、対応していきます。

八雲児童館の老朽化

問 八雲児童館の老朽化が進んでいる。学童保育については、第一小学校を利用すべきではないか。

答 平成28年度で事業終了予定でしたが、町民からの強い要望があり、予算を減額しても継続したものです。

答 放課後学童クラブについて、定員を超える利用希望があるため、場所を含め、検討いたします。

金のいびぎのPRは

問 「金のいびぎ」のPRは、また県で進めている「だて正夢」とのタイアップは。

答 涌谷町独自のパッケージで他町産と区別し、PR動画の作成やインターネット販売を予定しています。
また、「だて正夢」とのタイアップは今のところ考えていません。

補助事業の減額は

問 かがやく協働まちづくり事業の減額はなぜか。

答 平成28年度で事業終了予定でしたが、町民からの強い要望があり、予算を減額して継続したものです。

今年の夏祭りは

問 夏祭りは、これまで各商店街で賑やかに実施してきた。今年も涌谷スタジアムで実施するのか。

答 1カ所でイベントができたことは好評でした。今年も涌谷スタジアムで実施しますが、昨年度の夏まつりの反省点を踏まえ、より内容を充実させ、町内の参加者（商店街、各種団体など）が増える内容にしていきたいと考えています。



今年も涌谷スタジアムで みなさんのお越しをお待ちしています

議会に皆様のご意見をお寄せください。

キラキラVoice

スポーツ少年団の紹介は終了し、今回から、産金の地・浦谷で黄金のようにキラキラと輝いている町民の皆さんをご紹介します。 vol. 1



松岡 篤生さん
(長根区)

Q あなたのことを教えてください。

A 趣味はドライブをすることです。車が好きで、休日は県外などに行くことがあります。

その地域ならではの食べ物を食べるのが、楽しみのひとつです。

Q 議会についてどう思いますか。

A 浦谷町を観光地としてもっとアピールしてほしいです。特産物を使った土産や観光施設に力を入れて、浦谷町のことを知ってもらい、住みやすい町、福祉の町としてアピールしてほしいと思います。

Q 浦谷町をどうやって町にしたいですか。

A 子育てがしやすいまち・子どもが元気に安心して遊べるまちにしたいと思えます。子育て支援を充実させ、子育ての悩みを減らすことが、少子化の改善につながるのではないかと考えます。現在、保育士を目標として勉強中です。町の未来を支えていくために、少しでも貢献していきたいと思えます。

議会を傍聴

しませんか

次回の定例会は

9月上旬ごろ

開催予定です

詳しい日程と一般質問の内容は、後日配付の「定例会のご案内」でお知らせいたします。場所は役場西庁舎2階です。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎ 43-2127

一般質問を 動画配信 しています。

当議会では、議員ごとの一般質問の内容を、浦谷町ホームページで動画配信しています。ぜひご覧ください。



<http://www.town.wakuya.miyagi.jp/>

編集するまん

わくや
だより

今回、新たな試みとして、議会報告会を懇談会と変えて、町民の皆様のご参加をいただきました。意見交換のテーマを「今後の浦谷町」に、夢を話していただき、議会活動や今後の町づくりに反映させる試みがありました。

一方、7月2日に小、中、高校生を対象とした、タウンミーティングが公民館で行われました。「将来の浦谷町」や、「町長になったらどんな町にしたい」など、子どもたちの郷土愛ある意見が多く寄せられました。しかし、どちらの会場でも「財源がない」との声もありました。

これではいけない。子どもたちが町の歴史や文化を伝承し、住み続けたいと思える町づくりを、議員として積極的に行っていききたいと思えます。

(只野 順)

発行人 浦谷町議会議長

遠藤 積雄

編集 広報広聴常任委員会広報分科会

分科会長

只野 光順

副分科会長

鈴木 英弘

委員

稲葉 みさ子

委員

佐々木 敏雄

委員

佐々木 敏雄

委員

佐々木 敏雄